

## 平成30年度公表論文一覧

## 【共通教育科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
1	飯島 博之	共通教育科	教授	日本人EFL学習者の語彙学習ストラテジー	単著	上越英語研究 第16号	飯島博之	投稿受理(査読あり)
2	金野 倫子	共通教育科	教授	REM sleep behavior disorder predisposed by neuroleptic malignant syndrome	共著	Sleep and Biological Rhythms, 2019; 17: 155-157	Konno M et al.	2019.1
3	金野 倫子	共通教育科	教授	「治療可能な認知症(treatable dementia)」の現在 - その可逆性を考える -」序文	単著	日大医学雑誌77(5): 287	金野 倫子	2018.1
4	金野 倫子	共通教育科	教授	認知症における不眠への対応・視点と方法	単著	睡眠医療12 : 513-522	金野 倫子	2018.12
5	金野 倫子	共通教育科	教授	高齢者における睡眠の問題とメンタルヘルス	単著	精神医学 61(1) : 11-22	金野 倫子	2019.1
6	酒井 宏哉	共通教育科	教授	Outside-in法二重束前十字帯再建術における関節外大腿骨骨孔開口部の相対位置	共著	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会誌43(3): 712-717	中村晴彦、星川淳人、佐々木有記、税田和夫、酒井宏哉	2018.6
7	酒井 宏哉	共通教育科	教授	Medical services at the 2017 Sapporo Asian winter games: injury and illness epidemiology at a 34-nation multisport event.	共著	Br J Sports Med. 53(1): 32-36	Watanabe K, Akama T, Asakawa S, Fukuda K, Sakai H, Okuwaki T, Imai T, Sato H, Katayose M, Jegathesan M, Shamali NA.	2019.1
8	滑川 道人	共通教育科	教授	A case of severe Alexander disease with de novo c.239T>C, p.F80S, in GFAP	共著	Brain Dev, 2018; 40(7): 587-591, doi: 10.1016/j.braindev.2018.03.002.	Matsumoto A, Namekawa M, Osaka, et al.	2018.8
9	滑川 道人	共通教育科	教授	大学生の睡眠時間と生活習慣および精神的健康度の関連について	共著	CAMPUS HEALTH 2018; 55(1): 444-446	吉田由紀、滑川道人	2018.03
10	東 宏行	共通教育科	教授	いじめ関連行政と教育実践の間「法令・行政枠組」による対応の可能性と課題	単著	埼玉県立大学保健医療福祉学部教職連科目担当者会編、子ども・教職研究 第2巻、pp.12-23	東宏行	2019.3
11	東 宏行	共通教育科	教授	いじめ重大事態調査報告書の特徴と意義 3つの調査報告書の比較から見えてくる課題	共著	埼玉県立大学保健医療福祉学部教職連科目担当者会編、子ども・教職研究 第2巻、pp.24-40	東宏行、中村茉莉菜	2019.3
12	東 宏行	共通教育科	教授	不登校と社会的自立論 - 「育てる」支援の意義	単著	「指導と評価」8月号、二歩イン図書文化協会「日本教育評価研究会」pp.6-8	東宏行	2018.8
13	荒木和美	共通教育科	准教授	Tolerance toward our Native Language and Intolerance toward a Foreign Language (original paper in English)	単著	(1) Tallinn, Estonia, 662 (2) Language in Focus: Contemporary Means and Methods in ELT and Applied Linguistics p p15-31	(1) Kazumi Araki (2) Cem Can, Paschalia Patsala, Zoi Tatioka	2019年4月
14	浅川泰宏	共通教育科	准教授	北の大地のハイブリッドな巡礼文化 北海道三十三観音巡礼の調査から	単著	徳島地域文化研究第17号	浅川泰宏	2019.03
15	上原 美子	共通教育科	准教授	養護教諭の職務の特性とメンタルヘルスを考える	単著	「子ども・教職研究」埼玉県立保健医療福祉学部教職担当者会	上原美子	2019.3
16	小林 憲生	共通教育科	准教授	Seasonality of Supralittoral Hydrophilid Beetles Cercyon (Cercyon) spp. (Coleoptera, Hydrophilidae) in Zenibako, Hokkaido, Japan	共著	Elytra, 8:223-226	INARI N., N. KOBAYASHI, & M. ÔHARA	2018
17	小林 憲生	共通教育科	准教授	Population Structure of Two Flightless Weebills of Genus Scepticus Roelofs (Coleoptera, Curculionidae) with Seashore Habitat in Japan	共著	Zool.Sci. 36: 82-94	YAMASHITA Y., D. WAKU, N. KOBAYASHI, T. ISHIKAWA, & H. KOJIMA	2019
18	田中 健一	共通教育科	准教授	Application of Single Prolonged Stress Induces Post-traumatic Stress Disorder-like Characteristics in Mice	共著	Acta Med. Okayama, Vol. 72: 479-485.	Tanaka, K., Yagi, T., Nanba, T. and Asanuma, M.	2018
19	林 幸子	共通教育科	准教授	ベンジャミン・フランクリンのことわざの魅力 福沢諭吉、マーク・トウェインとの比較を通して	単著	ことわざ文化学研究、第2号、1-16	林 幸子	2019.3

## 【看護学科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
1	大月 恵理子	看護学科	教授	妊産婦の死に関わった看護職者の体験	共著	母性衛生、59巻4号 703-711	岩下 収美、大月 恵理子、鈴木 幸子	2019.1
2	大月 恵理子	看護学科	教授	母体・胎児集中治療室(MFICU)入院中の切迫早産妊婦への看護 第1報 看護の実際とアセスメント	共著	日本母性看護学会誌、 19巻1号 15-22	野中悠、大月恵理子、兼宗美幸	2019.3
3	大月 恵理子	看護学科	教授	生後3~4か月の第1子をもつ父親の児の出生後からの体験 - 父親の抑うつ状態に焦点をあてて	共著	日本母性看護学会誌、 19巻1号 83-90	櫻沢亜希子、大月恵理子、鈴木幸子	2019.3
4	鈴木 幸子	看護学科	教授	妊産婦の死に関わった看護職者の体験	共著	母性衛生、59(4)、703-711	○岩下収美、大月恵理子、鈴木幸子	2019.1
5	鈴木 幸子	看護学科	教授	分娩助産習前の学生の気づきを促すための模擬産婦に対するフィードバック研修の試み	共著	保健医療福祉科学、8、75-82.	○森美紀、鈴木幸子、石井邦子、青柳優子、山本英子、北川良子、川城由紀子、東原亜希子、植竹貴子	2019.3
6	鈴木 幸子	看護学科	教授	助産師の地域連携への困難感尺度の開発	共著	日本母性看護学会誌、19(1)、73-82	○三浦舞依、鈴木幸子、関美雪	2019.3
7	鈴木 幸子	看護学科	教授	生後3~4か月の第1子をもつ父親の子の出生後からの体験 - 父親の抑うつ状態に焦点をあてて	共著	日本母性看護学会誌、19(1)、73-82 19(1)、83-90	○櫻沢亜希子、大月恵理子、鈴木幸子	2019.3
8	鈴木 康美	看護学科	教授	「A県内の中規模病院の教育責任者からみた院内教育の現状と困難」	単著	保健医療福祉科学 2018:8:17-23,	○鈴木康美	2019.3.
9	添田 啓子	看護学科	教授	中堅看護師が仕事を継続するための「いきいき」測定尺度作成の試み	共著	日本看護学会論文集 看護管理49号、211-214	中込 洋美、横山 恵子、添田 啓子、延原弘章	2019.2
10	添田 啓子	看護学科	教授	長期入院中の子どものセルフケア・親のケア能力の獲得プロセスとそれに対する看護師の関わり	共著	保健医療福祉科学、8、10-16	櫻井育穂、望月浩江、長谷美智子、添田啓子	2019.3
11	常盤 文枝	看護学科	教授	通所介護における機能訓練指導員が捉える生活行為を視点とした機能訓練の取組と課題	共著	リハビリテーション連携科学、19(1)、41-51	白倉京子、常盤文枝、張平平、金さやか、菊本東陽	2018.6
12	常盤 文枝	看護学科	教授	保健医療福祉系大学における専門職連携教育(IPE)評価尺度の作成	共著	保健医療福祉科学、18、1-9	吉村・基宣・田口孝行・常盤文枝	2019.3
13	常盤 文枝	看護学科	教授	看護基礎教育における多重課題演習の評価	共著	保健医療福祉科学、18、24-31	金さやか、東口晴菜、齋田みゆき、山岸直子、常盤文枝	2019.3
14	徳本 弘子	看護学科	教授	地域包括支援センターで活動する看護職の認知症相談にける専門的判断	共著	第49回日本看護学会論文集看護教育:p.15-18	早坂玉緒、徳本弘子	2018.12
15	徳本 弘子	看護学科	教授	20代看護師の精神的健康度と健康習慣指数 心身のゆとり(同居家族の有無)との関連性について	共著	第49回日本看護学会論文集看護教育:p.167-170	森霞兆 徳本弘子	2018.12
16	林 裕栄	看護学科	教授	専門職連携を進める精神地域ケア事例検討会の試み	共著	第48回日本看護学会論文集 精神看護、pp43-46	○横山恵子・林裕栄、松本佳子・藤田利治	2018.4
17	林 裕栄	看護学科	教授	要介護認定を受けている血液透析患者の療養生活と本人の想い	共著	日本腎不全看護学会誌、20(2)、p103-111	○吉川京子・林裕栄	2018.7
18	林 裕栄	看護学科	教授	Characteristics of "Children of Concern" and Problems with their Support System	共著	Journal of Physical Fitness, Nutrition and Immunology 28(1): 27 -34 2018	○Miyuki SEKI, Mariko HATTORI, Aki SHIBATA, Aya FUJIKAWA, Hiroe HAYASHI	2018.6
19	横山 恵子	看護学科	教授	専門職連携を進める精神地域ケア事例検討会の試み	共著	第48回日本看護学会論文集(精神看護); P43-46	○横山恵子、林裕栄、松本佳子、藤田茂治	2018,4
20	横山 恵子	看護学科	教授	統合失調症の兄や姉を持つ思春期を共に過ごしたきょうだいの体験	共著	第49回日本看護学会論文集(精神看護); P19-22	○木村諭志、横山恵子	2018,4
21	横山 恵子	看護学科	教授	精神障がい者のきょうだいの体験と「家族学習会」への取り組み	単著	第49回日本看護学会論文集(精神看護); P67-70	横山恵子	2019,1

## 【看護学科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
22	横山 恵子	看護学科	教授	医療保護入院をした精神障がい者の家族の体験	共著	第49回日本看護学会論文集(精神看護); P63-66	塩野梨江・横山恵子	2019.1
23	横山 恵子	看護学科	教授	中堅看護師が仕事を継続するための「いきいき」測定尺度作成の試み	共著	第49回日本看護学会論文集(看護管理); P211-214	中込洋美・横山恵子・添田啓子・延原弘章	2019.2
24	會田 みゆき	看護学科	准教授	看護基礎教育における多重課題演習の評価	共著	保健医療福祉科学; Vol.8; P.23-30	金さやか、東口晴菜、會田みゆき、山岸直子、常盤文枝	2019.3
25	兼宗 美幸	看護学科	准教授	母体・胎児集中治療室(MFICU)入院中の切迫早産妊婦への看護 第1報 看護の実際とアセスメント	共著	日本母性看護学会誌、18(1)、- (査読終了発刊待ち)	○野中悠、大月恵理子、兼宗美幸	2019.3 (予定)
26	齋藤 恵子	看護学科	准教授	ラオス人民民主共和国における家族が行う看護ケアと看護師の役割	共著	Journal of Japanese Society for International Nursing 1(1) 13-24	齋藤 恵子, 李 孟蓉, 辻村 弘美, 森 淑江	2018.7
27	櫻井 育穂	看護学科	准教授	長期入院中の子どものセルフケア・親のケア能力の獲得プロセスとそれに対する看護師の関わり	共著	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会誌	櫻井育穂、望月浩江、長谷美智子、添田啓子	2019.3
28	柴山 志穂美	看護学科	准教授	在宅医療・介護を推進する多職種連携研修プログラム「三郷モデル」の開発プロセスと評価	共著	保健医療福祉科学 2018:8:53-60	丸山優、伊藤善典、巖末恵子、井上和久、柴山志穂美、新井麻紀子	2019.3
29	渋谷 えり子	看護学科	准教授	女性の健康講座におけるセルフハンドケア活用についての検討	共著	第48回日本看護学会論文集ヘルスプロモーション; P67-70	渋谷えり子、平野祐子	2018.4
30	関 美雪	看護学科	准教授	大学主催健康講座の随時尿法を用いた一日食塩摂取量測定と減塩推奨の効果の検討	共著	臨床病理66巻4号 P371-375	荒川恭子、酒井伸枝、井原寛子、久保田亮、内山真理、関美雪、室橋郁生	2018.5
31	関 美雪	看護学科	准教授	Characteristics of “children of concern” and problems with their support system	共著	Journal of Physical Fitness, Nutrition and Immunology; Vol.28 No.1 P27-34	Miyuki Seki、Mariko Hattori、Aki Shibata、Aya Fujikawa、Hiroe Hayashi	2018.9
32	関 美雪	看護学科	准教授	助産師の地域連携への困難感尺度の開発	共著	日本母性看護学会誌19巻1号P73-82	三浦真依、鈴木幸子、関美雪	2019.3
33	善生 まり子	看護学科	准教授	在宅移行期支援における退院調整看護師の実践の構造～専門職連携カンファレンス場面を中心として～	単著	北里大学リポジトリ、1-123	善生まり子	2018.4
34	田中 広美	看護学科	准教授	看護実践中に看護師が行っているセルフモニタリングの明確化～新人レベルと達人レベルに焦点を当てて～	単著	学位論文	田中広美	
35	田中 広美	看護学科	准教授	対人関係におけるセルフモニタリングの概念分析	単著	(1)一般社団法人日本看護学教育学会、10 (2)日本看護学教育学会誌、vol.No.1、13-23	(1)田中広美	2018.12
36	張 平平	看護学科	准教授	東日本大震災を経験した漁村に暮らす高齢者の想い	共著	日本地域看護学会誌、21(1): 63-69	佐藤美香子、張平平	2018.4
37	張 平平	看護学科	准教授	通所介護における機能訓練指導員が捉える生活行為を視点とした機能訓練の取り組みと課題	共著	リハビリテーション連携科学、19(1): 41-51	白倉京子、常盤文枝、張平平、金さやか、菊本東陽	2018.6
38	張 平平	看護学科	准教授	地域在住自立高齢者夫婦の生活特徴	単著	文化看護学会誌、11(1): 72-82	張平平	2019.3

## 【看護学科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
39	平野 裕子	看護学科	准教授	歯科衛生生学生におけるがん患者のEnd-of-Life Care教育の効果と課題	共著	日本歯科衛生教育学会雑誌 9巻1号; P. 25-30	○平野裕子、新井恵、秋山恭子	2018.5
40	平野 裕子	看護学科	准教授	女性の健康講座におけるセルフハンドケア活用についての検討	共著	第48回日本看護学会論文集-ヘルスプロモーション-学術集会; P.67-70	○渋谷えり子、平野裕子	2018.4
41	丸山 優	看護学科	准教授	在宅医療・介護を推進する多職種連携研修プログラム「三郷モデル」の開発プロセスと評価	共著	保健医療福祉科学、8、53-60	丸山優、伊藤善典、鳶末憲子、井上和久、柴山志穂美、新井麻紀子	2019.3
42	森田 牧子	看護学科	准教授	在宅精神障害者を支援する訪問看護師が抱える困難感 - 虐待とグレーゾーンの狭間で -	共著	日本保健科学学会誌 ; 21(1); p14-22	森田 牧子、渡辺 多恵子、山村 礎、習田 明裕	2018
43	山本 英子	看護学科	准教授	分娩介助実習前の学生の気づきを促すための模擬妊婦に対するフィードバック研修の試み	共著	保健医療福祉科学、8、75-82	森美紀、鈴木幸子、山本英子、他6名	2019.3
44	山岸 直子	看護学科	准教授	看護基礎教育における多重課題演習の評価	共著	保健医療福祉科学、8、24-31	金さやか、東口晴菜、曾田みゆき、山岸直子、常盤文枝	
45	青木 恭子	看護学科	助教	「高年初産婦に特化した産後1か月までの子育て支援ガイドライン」の現場適用における困難と対処(研究報告)	共著	日本母性看護学会誌、19(1)、in press	青木恭子、森恵美、坂上明子、前原邦江、岩田裕子	2019.3
46	東原 亜希子	看護学科	助教	分娩介助実習前の学生の気づきを促すための模擬産婦に対するフィードバック研修の試み	共著	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、8、75-82	森美紀、鈴木幸子、石井邦子、山本英子、青柳優子、北川良子、川城由紀子、東原亜希子、植竹貴子	2018.3
47	宮部 明美	看護学科	助教	勤労女性の体型認識、食行動に影響を与える要因に関する調査	共著	保健の科学; 60(6); P.423-428	西村りん、宮部明美	2018.6
48	宮部 明美	看護学科	助教	看護学生が考える手術室の音環境 - BGMに着目して -	共著	OPENURSING; 34(3); P.284-289	齋藤舞、宮部明美	2019.3
49	望月浩江	看護学科	助教	長期入院中の子どものセルフケア・親のケア能力の獲得プロセスとそれに対する看護師の関わり	共著	保健医療福祉科学、8、10-16	櫻井育穂、望月浩江、長谷美智子、添田啓子	2019.3
50	吉村 基宜	看護学科	助教	保健医療福祉系大学における専門職連携教育(IPE)の評価尺度開発	共著	保健医療福祉科学 Vol.8; P.1-9	吉村基宜、田口孝行、常盤文枝	2019.3.31
51	吉村 基宜	看護学科	助教	障がい者スポーツ大会における看護師の役割について	共著	日本障がい者スポーツ健康科学看護学会 学術誌	吉村基宜、田中広美、鈴木康美、徳本弘子	2019.6 掲載予定

## 【理学療法学科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
1	金村 尚彦	理学療法学科	教授	Controlling joint instability after anterior cruciate ligament transection inhibits transforming growth factor-beta-mediated osteophyte formation.	共著	Osteoarthritis and Cartilage. Impress	Murata K, Kokubun T, Onitsuka K, Oka Y, Kano T, Morishita Y, Ozono K, Kuwabara N, Nishimoto J, Isho T, Takayanagi K, Kanemura K	2019.3
2	金村 尚彦	理学療法学科	教授	Loss of mechanical energy efficiency in the sit-to-stand motion of acute stroke patients	共著	Advanced Biomedical Engineering. Impress	Hanawa H, Hirata K, Miyazawa T, Kubota K, Sonoo M, Kokubun T, Kanemura N	2019.3
3	金村 尚彦	理学療法学科	教授	Contribution of Lower Limb Joint Movement in Adapting to Re-establish Step Length Symmetry During Split-Belt Treadmill Walking.	共著	Journal of Medical and Biological Engineering. Published online, pp1-9,	Hirata K, Kokubun T, Miyazawa T, Yokoyama H, Kubota K, Sonoo M, Hanawa H, Kanemura N.	2018.9
4	金村 尚彦	理学療法学科	教授	Restoring knee joint kinematics after anterior cruciate ligament injury might inhibit synovial membrane inflammation.	共著	Sport Sciences for Health. 13(1); pp113-119	Murata K, Kokubun T, Takayanagi K, Kanemura N	2018.6
5	金村 尚彦	理学療法学科	教授	Effects of Controlling Abnormal Joint Movement on Expression of MMP13 and TIMP-1 in Osteoarthritis.	共著	Cartilage. Apr.11 Published online pp1-10	Onitsuka K, Murata K, Kokubun T, Fujiwara S, Nakajima A, Morishita Y, Kanemura N	2018.5
6	金村 尚彦	理学療法学科	教授	Effects of controlled abnormal joint movement on the molecular biological response in intra-articular tissues during the acute phase of anterior cruciate ligament injury in a rat model.	共著	BMC Musculoskeletal Disorders. Vol.19:175, pp1-9,	Nishikawa Y, Kokubun T, Kanemura N, Takahashi T, Matsumoto M, Maruyama H, Takayanagi K	2018.5
7	金村 尚彦	理学療法学科	教授	理学療法士養成課程における身体運動力学教育の現状	共著	専門リハビリテーション, 2019. 18(1) Impress	国分貴徳、金村尚彦、星文彦	2019.3
8	金村 尚彦	理学療法学科	教授	変形性膝関節症における筋シナジーと静・動的評価指標との関連性	共著	理学療法-臨床・教育・研究-2019. 26 (1) Impress	久保田圭祐, 園尾萌香, 喜多俊介, 塙大樹, 平田恵介, 藤野努, 国分貴徳, 金村尚彦	2019.3
9	金村 尚彦	理学療法学科	教授	脳卒中片麻痺者と健常人の split-belt treadmill での歩行適応時における床反力推進成分の変化	共著	理学療法-臨床・教育・研究-2019. 26 (1) Impress	平田恵介, 塙大樹, 宮澤拓, 江連亜弥, 久保田圭祐, 園尾萌香, 藤野努, 国分貴徳, 金村尚彦	2019.3
10	金村 尚彦	理学療法学科	教授	慢性期脳卒中患者の立ち上がり動作における腰関節モーメント減少と体幹運動との関連	共著	理学療法-臨床・教育・研究-2019. 26 (1) Impress	塙大樹, 平田恵介, 宮澤拓, 渡邊孝志, 藤野努, 青木健太, 国分貴徳, 金村尚彦	2019.3
11	金村 尚彦	理学療法学科	教授	体幹拘束による歩行時足部軌道制御と多関節協調性の変化	共著	理学療法-臨床・教育・研究-2019. 26 (1) Impress	藤野努, 金村尚彦, 国分貴徳, 園尾萌香, 久保田圭祐, 平田恵介, 塙大樹, 宮澤拓	2019.3
12	金村 尚彦	理学療法学科	教授	脳卒中片麻痺患者における立ち上がり動作の下肢荷重量と歩行の対称性の関係性-年齢,経過年数,ADL能力がマッチングした3例の検討-	共著	リハビリテーション医学研究財団 研究論文集 2018. 21(1);16-21	平田恵介, 塙大樹, 宮澤拓, 国分貴徳, 藤野努, 久保田圭祐, 園尾萌香, 渡邊孝志, 金村尚彦	2018.10.
13	金村 尚彦	理学療法学科	教授	片麻痺患者の立位姿勢制御における多関節協調パタンの変化と不安定性の評価	共著	リハビリテーション医学研究財団 研究論文集 2018. 21(1);122-128	宮澤拓, 平田恵介, 塙大樹, 国分貴徳, 渡邊孝志, 金村尚彦	2018.10.

## 【理学療法学科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
14	西原 賢	理学療法学科	教授	Correlation of physical function with the thickness of multiple muscles of the quadriceps femoris in community-dwelling elderly individuals.	共著	Clinical Interventions in Aging ; 13 ; P.1945-1951	Ken Nishihara, Hisashi Kawai, Takeshi Kera, Hirohiko Hirano, Yutaka Watanabe, Yoshinori Fujiwara, Kazushige Ihara, Hunkyung Kim, Masashi Tanaka, Shuichi Obuchi	2018.8
15	西原 賢	理学療法学科	教授	Quantification of trunk segmental coordination and head stability in laterally unstable sitting identifies aging and cerebellar ataxia	共著	Clinical Biomechanics ; 63 ; P.127-133	Koshiro Haruyama, Kenji Kasai, Ryohei Makino, Fumihiko Hoshi, Ken Nishihara	2019.3
16	原 和彦	理学療法学科	教授	在宅介護者高齢者における災害時避難方法に関する実態調査	共著	理学療法-臨床・研究・教育 24 : 48-54,2017	菊池裕美、原嶋創、村上幹、伊藤慎也、山際正博、田口孝行、原和彦	2017.3
17	星 文彦	理学療法学科	教授	Slower Reorientation of Trunk for Reactive Turning while Walking in Hemiparesis Stroke Patients	共著	J. Motor Behavior ; Published online:	Takahito Nakamura, Takahiro Higuchi, Toyo Kikumoto, Takanori Takeda, Hideyuki Tashiro & Fumihiko Hoshi	2019.1
18	星 文彦	理学療法学科	教授	Quantification of trunk segmental coordination and head stability in laterally unstable sitting identifies aging and cerebellar ataxia	共著	Clinical Biomechanics 63 127-133.	Koshiro Haruyama, Kenji Kasai, Ryohei Makino, Fumihiko Hoshi, Ken Nishihara	2019.3
19	丸岡 弘	理学療法学科	教授	Effect of Exercise on Muscle Protein and Mitochondrial Function in Mice Model of Skeletal Muscle Atrophy	共著	Int J Anal Bio-Sci in press	Maruoka H, Tanaka K, Zenda M, Ogawa A, Kido S, Inoue K	2019.3
20	井上和久	理学療法学科	准教授	在宅医療と在宅介護サービス推進のためのIPW研修プログラム「三郷モデル」の開発プロセスと評価	共著	保健医療福祉科学2018 Vol.8:p53-60	丸山優、伊藤義典、嵩末恵子、井上和久、柴山志穂美、新井麻紀子	2019.3
21	小栢進也	理学療法学科	准教授	Potential of muscles to accelerate the body during late-stance forward progression in individuals with knee osteoarthritis.	共著	Human movement science 61 巻 109-116	Ogaya Shinya, Kubota Ryo, Chujo Yuta, Hirooka Eiko, Ito Kenichi, Kim Kwan-ho, Hase Kimitaka	2018.1
22	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Development of the Working Alliance Inventory-Short Form Japanese version through factor analysis and test-retest reliability.	共著	Physiotherapy theory and practice; P.1-6	Takasaki H, Miki T, Hall T	2018.6
23	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Concerns related to the accurate identification of anterior derangement syndrome in mechanical diagnosis and therapy for low back pain: A case report.	共著	Physiotherapy theory and practice; P.1-9	Takasaki H, May S	2018.6
24	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Introduction of clinical prediction rules for neck pain.	単著	The Journal of Manual Physical Therapy; P. 29-32	Takasaki H	2018.6
25	高崎 博司	理学療法学科	准教授	No increase in 6-week treatment effect of Mechanical Diagnosis and Therapy with the use of the LUMObac in people with non-acute non-specific low back pain and a directional preference of extension: a pilot randomized controlled trial.	共著	Physiotherapy; P.347-353	Takasaki H, Aoki S, May S	2018.9
26	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Are improvements in symptoms associated with changes in lumbopelvic posture in patients with posterior derangement using Mechanical Diagnosis and Therapy?	共著	Journal of back and musculoskeletal rehabilitation; P.doi: 10.3233/BMR-181263.	Takasaki H, May S	2018.11

## 【理学療法学科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
27	高崎 博司	理学療法学科	准教授	A Japanese version of the Patient Attitudes and Beliefs Scale for patients with musculoskeletal disorders.	共著	Physiotherapy theory and practice; P.1-9	Takasaki H, Hall T	2019.1
28	高崎 博司	理学療法学科	准教授	The most common classification in the Mechanical Diagnosis and Therapy for patients with a primary complaint of non-acute knee pain was Spinal Derangement: a retrospective chart review.	共著	Journal of Manual and Manipulative Therapy; P.33-42	Hashimoto S, Hirokado M, Takasaki H	2019.2
29	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Altered trunk head co-ordination in those with persistent neck pain.	共著	Musculoskeletal science & practice; P.45-50	Treleaven J, Takasaki H, Grip H	2019.2
30	高崎 博司	理学療法学科	准教授	Reporting on the level of validity and reliability of questionnaires measuring Katakori severity: A systematic review.	共著	SAGE open medicine; in press	Aoki K, Hall T, Takasaki H	2019.3
31	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	Controlling joint instability after anterior cruciate ligament transection inhibits transforming growth factor-beta-mediated osteophyte formation.	共著	Osteoarthritis and Cartilage. Impress	Murata K, Kokubun T, Onitsuka K, Oka Y, Kano T, Morishita Y, Ozono K, Kuwabara N, Nishimoto J, Isho T, Takayanagi K, Kanemura K	2019.3
32	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	Loss of mechanical energy efficiency in the sit-to-stand motion of acute stroke patients	共著	Advanced Biomedical Engineering. Impress	Hanawa H, Hirata K, Miyazawa T, Kubota K, Sonoo M, Kokubun T, Kanemura N	2019.3
33	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	Contribution of Lower Limb Joint Movement in Adapting to Re-establish Step Length Symmetry During Split-Belt Treadmill Walking.	共著	Journal of Medical and Biological Engineering. Published online, pp1-9,	Hirata K, Kokubun T, Miyazawa T, Yokoyama H, Kubota K, Sonoo M, Hanawa H, Kanemura N.	2018.9
34	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	Restoring knee joint kinematics after anterior cruciate ligament injury might inhibit synovial membrane inflammation.	共著	Sport Sciences for Health. 13(1); pp113-119	Murata K, Kokubun T, Takayanagi K, Kanemura N	2018.6
35	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	Effects of Controlling Abnormal Joint Movement on Expression of MMP13 and TIMP-1 in Osteoarthritis.	共著	Cartilage. Apr.11 Published online pp1-10	Onitsuka K, Murata K, Kokubun T, Fujiwara S, Nakajima A, Morishita Y, Kanemura N	2018.5
36	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	Effects of controlled abnormal joint movement on the molecular biological response in intra-articular tissues during the acute phase of anterior cruciate ligament injury in a rat model.	共著	BMC Musculoskeletal Disorders. Vol.19:175, pp1-9,	Nishikawa Y, Kokubun T, Kanemura N, Takahashi T, Matsumoto M, Maruyama H, Takayanagi K	2018.5
37	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	理学療法士養成課程における身体運動力学教育の現状	共著	専門リハビリテーション, 2019. 18(1) Impress	国分貴徳、金村尚彦、星文彦	2019.3
38	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	変形性膝関節症者における筋シナジーと静・動的評価指標との関連性	共著	理学療法-臨床・教育・研究-2019. 26 (1) Impress	久保田圭祐、園尾萌香、喜多俊介、埴大樹、平田恵介、藤野努、国分貴徳、金村尚彦	2019.3
39	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	脳卒中片麻痺者と健康人の split-belt treadmill での歩行適応時における床反力推進成分の変化	共著	理学療法-臨床・教育・研究-2019. 26 (1) Impress	平田恵介、埴大樹、宮澤拓、江連亜弥、久保田圭祐、園尾萌香、藤野努、国分貴徳、金村尚彦	2019.3
40	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	慢性期脳卒中患者の立ち上がり動作における腰関節モーメント減少と体幹運動との関連	共著	理学療法-臨床・教育・研究-2019. 26 (1) Impress	埴大樹、平田 恵介、宮澤 拓、渡邊 孝志、瀨野 祐樹、青木 健太、国分 貴徳、金村尚彦	2019.3

## 【理学療法学科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
41	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	体幹拘束による歩行時足部軌道制御と多関節協調性の変化	共著	理学療法-臨床・教育・研究-2019. 26 (1) Impress	藤野努, 金村尚彦, 国分貴徳, 園尾萌香, 久保田圭祐, 平田恵介, 塙大樹, 宮澤拓	2019.3
42	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	麻痺側下肢遊脚の困難さを呈した左片麻痺の症例 -下肢遊脚のバイオメカニクスと歩行介助-	共著	理学療法-臨床・教育・研究-2019. 26 (1) Impress	齋藤隼平, 国分貴徳, 久保田圭祐	2019.3
43	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	脳卒中片麻痺患者における立ち上がり動作の下肢荷重量と歩行の対称性の関係性 -年齢,経過年数,ADL 能力がマッチングした 3 例の検討-	共著	リハビリテーション医学研究財団 研究論文集 2018. 21(1) ;16-21	平田恵介, 塙大樹, 宮澤拓, 国分貴徳, 藤野努, 久保田圭祐, 園尾萌香, 渡邊孝志, 金村尚彦	2018.10.
44	国分 貴徳	理学療法学科	准教授	片麻痺患者の立位姿勢制御における多関節協調パタンの変化と不安定性の評価	共著	リハビリテーション医学研究財団 研究論文集 2018. 21(1) ;122-128	宮澤拓, 平田恵介, 塙大樹, 国分貴徳, 渡邊孝志, 金村尚彦	2018.10.



## 【作業療法学科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
1	久保田 富夫	作業療法学科	教授	地域在住高齢者に対する健康づくり支援システムの考案と効果の検証	共著	埼玉作業療法, 17, 10-18	押野修司, 松尾彰久, 南雲浩隆, 小池祐士, 久保田富夫	2018.5
2	中村 裕美	作業療法学科	教授	Occupation-based practice:A new momentum in Japan	単著	British Journal of Occupational Therapy. 2018. 81(7): 367-368. doi:10.1177/0308022617753325 IF付国際学術誌	Nakamura HT	2018.7
3	中村 裕美	作業療法学科	教授	Japanese community-living older adults' perceptions and solutions regarding their physical home environments	共著・筆頭	Home Health Care Management & Practice. 2019. 31(1):16-22. doi:10.1177/10848223.18806997 査読有国際学術誌	Nakamura HT, Kyougoku M, Bonsaksen T.	2019.1
4	中村 裕美	作業療法学科	教授	Participation of children with disabilities in school:A realist systematic review of psychosocial and environmental factors	共著	PLON ONE. 2019. 14(1): e0210511. doi:10.1371/journal.pone.0210511 査読有国際学術誌	Mciver D, Rutherford M, Arakelyan S, Kramer JM, Richmond J, Todorova L, Romero-Ayuso R, Nakamura HT, tenVeldenM, Finlayson I, O' Hare A, Forsyth K.	2019.2
5	中村 裕美	作業療法学科	教授	社会的ケア関連QOL尺度the Adult Social Care Outcomes Toolkit(ASCOT)の日本語翻訳 言語的妥当性の検討	共著	保健医療科学. 2018. 67(3):313-321. 査読有原著	森川美絵, 中村裕美, 森山葉子, 白岩健	2018.8
6	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Relationship between knee extension strength and gait styles in patients with dementia.	共著	Medicine 98(12) e14958	Nakayama N, Suzuki M, Hamaguchi T	2019.3
7	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Differences in Manual Exercise Therapy Skills between Students and Therapists	共著	Journal of Ergonomic Technology 19(1) 1-13	Yuji Koike, Makoto Suzuki, Akihisa Okino, Kazuhisa Takeda, Yasuhiro Takanami, Toyohiro Hamaguchi	2019.3
8	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Development of the Fundamental Training and Evaluation Tool for the Prosthetic Body-powered Split Hook: A Preliminary Correlational Study	共著	Journal of Prosthetics and Orthotics 31(2) 104-111	Masaki Nakagawa, Kumiko Sasao, Toshiyuki Ishioka, Makoto Suzuki and Toyohiro Hamaguchi	2019.2
9	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Omega-3 polyunsaturated fatty acids and psychological intervention for workers with mild to moderate depression: a double-blind randomized controlled trial	共著	Journal of Affective Disorders 29(18) 364-370	J.Tayama, S.Ogawa, N.Nakaya, T.Sone, T.Hamaguchi	2018.12
10	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Corticospinal excitability is modulated by temporal feedback gaps.	共著	Neuroreport 29(18) 1558-1563	Suzuki T, Suzuki M, Hamaguchi T	2018.12
11	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Effect of attention bias modification on event-related potentials in patients with irritable bowel syndrome: A preliminary brain function and psycho-behavioral study	共著	Neurogastroenterology & Motility Volume30, Issue10 October 2018 e13402	Jun Tayama, Tatsuo Saigo, Sayaka Ogawa, Atsushi Takeoka, Toyohiro Hamaguchi	2018.5
12	濱口 豊太	作業療法学科	教授	Impairment in toileting behavior after a stroke	共著	Geriatrics & Gerontology International 1-7	Kawanabe E, Suzuki M, Tanaka S, Sasaki S, Hamaguchi T	2018.4

## 【作業療法学科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
13	石岡 俊之	作業療法学科	准教授	足圧中心解析による片手でズボンを上上げる工程の立位姿勢安定性 脳卒中片麻痺者と健常者の比較	共著	日本臨床作業療法研究 . 5, pp.34-40	鳥居誠志, 石岡俊之, 小池祐士, 濱口豊太, 中村裕美	2018.6
14	石岡 俊之	作業療法学科	准教授	Defining visual illusions in Parkinson's disease: Kinetopsia and object misidentification illusions	共著	Parkinsonism Relat Disord. 55, pp.111-116	Nishio Y, Yokoi K, Hirayama K, Ishioka T, Hosokai Y, Gang M, Uchiyama M, Baba T, Suzuki K, Takeda A, Mori E	2018.1
15	白倉 京子	作業療法学科	准教授	所介護における機能訓練指導員が捉える生活行為を視点とした機能訓練の取組と課題	共著	リハビリテーション連携 科学, 19(1), 41-51	白倉京子、常盤文枝、張平平、金さやか、菊本東陽	2018.6
16	白倉 京子	作業療法学科	准教授	発達障害児・者のきょうだいにおける同胞の存在の開示状況とその理由について	共著	保健医療福祉科学、8、68-7	鳥津実穂子、白倉京子	2019.3
17	白倉 京子	作業療法学科	准教授	通所介護における生活行為の向上を視点としたマネジメントに関する研究	共著	埼玉県立大学研究開発 センター年報、3、18-19	白倉京子、常盤文枝、星文彦、張平平、菊本東陽、金さやか、小池祐士	2019.3
18	押野 修司	作業療法学科	准教授	地域在住高齢者に対する健康づくり支援システムの考案と効果の検証	共著	埼玉作業療法研究17、10-18	押野修司、松尾彰久、南雲浩隆、小池祐士、久保田富夫	2018.5
19	南雲 浩隆	作業療法学科	准教授	地域在住高齢者に対する健康づくり支援システムの考案と効果の検証	共著	埼玉作業療法 第17号	押野修司、松尾彰久、南雲浩隆、小池祐士、久保田富夫	2018.5
20	松尾 彰久	作業療法学科	准教授	地域在住高齢者に対する健康づくり支援システムの考案と効果の検証	共著	埼玉作業療法研究 17(1) 10-18	押野修司、松尾彰久、南雲浩隆、小池祐士、久保田富夫	2018.5
21	小池 祐士	作業療法学科	助教	地域在住高齢者に対する健康づくり支援システムの考案と効果の検証	共著	埼玉作業療法, 17, 10-18	押野修司、松尾彰久、南雲浩隆、小池祐士、久保田富夫	2018.5
22	小池 祐士	作業療法学科	助教	足圧中心解析による片手でズボンを上上げる工程の立位姿勢安定性 - 脳卒中片麻痺者と健常者の比較	共著	日本臨床作業療法研究, 5, 34-40	鳥居誠志, 石岡俊之, 小池祐士, 濱口豊太, 中村裕美	2018.6
23	鈴木 貴子	作業療法学科	助教	Corticospinal excitability is modulated by temporal feedback gaps.	共著	Neuroreport, 29(18), 1558-1563	Takako Suzuki, Makoto Suzuki, and Toyohiro Hamaguchi	2018.12

## 【社会福祉こども学科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
1	伊藤 善典	社会福祉学科	教授	在宅医療・介護を推進する多職種連携研修プログラム「三郷モデル」の開発プロセスと評価	共著	保健医療福祉科学、8、53 - 60	丸山優、伊藤善典、髙末憲子、井上和久、柴山志穂美、新井麻紀子	2019.3
2	梅崎 薫	社会福祉学科	教授	高齢者虐待を予防する修復的対話導入のためのグレイゾーンアセスメントの検討 - カナダにおける潜在的高齢者虐待リスク・スクリーン(LOA)の援用 -	単著	日本高齢者虐待防止学会 高齢者虐待防止研究 第15巻 第1号(15ページ)	梅崎 薫	2019.3
3	新井 利民	社会福祉学科	准教授	埼玉県立大学における段階的なIPEの実施	共著	看護展望、43(9):50-57.	新井利民、田口孝之、川俣実	2018.7
4	新井 利民	社会福祉学科	准教授	埼玉県立大学におけるIPE実習科目	単著	保健医療福祉連携、11(2)、104-110	新井利民	2018.10
5	新井 利民	社会福祉学科	准教授	学生による災害福祉支援活動の展開と今後の課題	単著	保健医療福祉科学、(8)、61-67	新井利民	2019.3
6	大島 千帆	社会福祉学科	准教授	「認知症高齢者に配慮した施設環境づくり支援プログラム」に基づく環境づくりの実施内容とサービス成果の検討；環境づくり実践事例データ集(特養版)の作成に向けて	共著	日本社会事業大学研究紀要、65、印刷中	児玉桂子、大島千帆、古賀誉章ほか	2019.3
7	小川 孔美	社会福祉学科	准教授	地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種連携研修会-地域ケア会議から見えている課題内容の構造化と解決手法の検討		公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団、P1~109	○小川孔美	2018.9
8	髙末 憲子	社会福祉学科	准教授	IoT活用と生活支援記録法(F-SOAIP)搭載の認知症対応型人工知能KCis-BPSD発症予測に基づくケアの最適化と効率化の実証研究 -	共著	地域ケアリング、20(8)； 90-97	羽田野政治、髙末憲子、小嶋章吾	2018.8
9	髙末 憲子	社会福祉学科	准教授	多職種の実践過程を可視化するF-SOAIPによる人材育成の提案 - 「生活支援記録法ワークシート【初回・導入・OJT版】」の意義と多領域での実践報告 -	共著	地域ケアリング、20(13)； 80-89	髙末 憲子、小嶋章吾、菊地月香、幡野敏彦、田中真佐江	2018.12
10	髙末 憲子	社会福祉学科	准教授	経過記録・実施記録のイノベーション 生活支援記録法(F-SOAIP)~ケアの見える化・情報共有・OJTのために~	共著	介護人材、15(6)； 48-56	髙末 憲子・小嶋 章吾	2019.1
11	髙末 憲子	社会福祉学科	准教授	連載1回目 生活支援記録法の導入と実践効果 生活支援記録法の導入1年後の職員の意識調査と新人育成への活用	共著	介護人材、16(1)； 18-26	川村扶実、監修：髙末憲子、小嶋章吾	2019.3
12	佃 志津子	社会福祉学科	准教授	同居家族との死別により生じた入院中の高齢者の社会的課題とその支援回復期リハビリテーション病棟における2事例から	単著	社会福祉学 59(1)、96-108	佃志津子	2018.5
13	保科 寧子	社会福祉学科	准教授	多職種連携教育における地域課題検討型の実習モデルの検討	共著	地域ケアリング、20(7)； P52-56、	保科寧子、髙末憲子	2018.7
14	牧野 由理	社会福祉学科	准教授	佐久間文吾と博物図：洋画家、版下画家、そして画工として	単著	近代画説；27；P.100-117	牧野由理	2018.12
15	森田満理子	社会福祉学科	准教授	公立幼稚園における特別支援園内研修の実践記録(8)	共著	(1)埼玉学園大学 (2)埼玉学園大学心理臨床研究、第5号(2018)	藤枝静暁・森田満理子	2019.3
16	山田 千明	社会福祉学科	准教授	保育者養成課程の学生による食育カルタの制作と保育所におけるカルタ遊びの実践	共著	山梨県立大学人間福祉学部紀要；14；P.73-83	鳥居美佳子、古屋祥子、里見達也、山田千明	2019.3
17	相良翔	社会福祉学科	助教	薬物依存からの「回復」に関する社会学的研究 ダルクにおけるフィールドワークを通じて	単著	中央大学大学院博士論文、234	相良翔	2018.7

## 【健康開発学科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
1	植野 正之	健康開発学科	教授	Early childhood caries and risk factors in Vietnam	共著	J Clin Ped Dent; 42(3): 173-18	Yen Hoang Thi Nguyen, <b>Masayuki Ueno</b> , Takashi Zaitzu, Toai Nguyen, Yoko Kawaguchi	2018.5
2	植野 正之	健康開発学科	教授	Validity of self-reported tooth counts and masticatory status study of a Japanese adult population	共著	J Oral Rehabi; 45(5): 393-398	<b>Masayuki Ueno</b> , Taichi Shimazu, Norie Sawada, Shoichiro Tsugane, Yoko Kawaguchi	2018.5
3	植野 正之	健康開発学科	教授	Prevalence of halitosis and risk factors in Japanese school children	共著	Pediatric Int; 60(6): 588-592	<b>Masayuki Ueno</b> , Mari Ohnuki, Takashi Zaitzu, Sachiko Takehara, Sayaka Furukawa, Yoko Kawaguchi	2018.6
4	植野 正之	健康開発学科	教授	Effects of oral health education in Myanmar preschool children and guardians	共著	J Invest Clin Dent; 9(3): e12346	Kaung Myat Thwin, Takashi Zaitzu, <b>Masayuki Ueno</b> , Yoko Kawaguchi	2018.9
5	植野 正之	健康開発学科	教授	Masticatory performance measured with a chewing gum containing spherical resinous microparticles	共著	Int J Clin Prev Dent; 14(4): 256-263	Toshiya Kanazawa, Takashi Zaitzu, <b>Masayuki Ueno</b> , Yoko Kawaguchi	2018.1
6	植野 正之	健康開発学科	教授	Application of a visual oral health literacy instrument in elementary schoolchildren	共著	Primary Care Epidemiol Global Health; 1: 19-29	Anish Harshad Kothari, Takashi Zaitzu, <b>Masayuki Ueno</b> , Yoko Kawaguchi	2019.1
7	植野 正之	健康開発学科	教授	Characterization of oral microbiota in marmosets: Feasibility of using the marmoset as a human oral disease model	共著	PLoS ONE; 14(2): e0207560	Sachiko Takehara, Jorge L. Zeredo, Yasuhiro Kumei, Kensuke Kagiya, Kazumasa Fukasawa, Akiko Oshiro, <b>Masayuki Ueno</b> , et al.	2019.2
8	酒井 伸枝	健康開発学科	教授	大学主催健康講座の随時尿法を用いた1日食塩摂取量測定と減塩推奨の効果の検討	共著	臨床病理;66(4);P371-375、日本臨床検査医学会	荒川恭子、 <b>酒井伸枝</b> 、久保田亮、井原寛子、内山真理、関美雪、室橋郁生	2018.4
9	酒井 伸枝	健康開発学科	教授	IgA腎症の早期発見を目的とした尿蛋白電気泳動による解析	共著	生物試料分析;41(3);P153-161、生物試料分析科学会	西澤美穂子、久保田亮、五十嵐徹、 <b>酒井伸枝</b>	2018.6
10	延原 弘章	健康開発学科	教授	中堅看護師が仕事を継続するための「いきいき」測定尺度作成の試み	共著	日本看護学会論文集：看護管理、49、211-214	横山恵子、添田啓子、 <b>延原弘章</b>	2019.2
11	松下 誠	健康開発学科	教授	アガロースゲル電気泳動法を用いるリボ蛋白分画における各脂質の反応性の相違 コレステロールとトリグリセライドの和を染色する新たなリボ蛋白分画との比較	共著	臨床検査学教育 ; 10 : P140-141.	山口奈摘美、我妻朋代、小澤恵理、池澤里枝、高橋由季、中島一樹、松下 誠	2018.4
12	松下 誠	健康開発学科	教授	臨床検査の現場に還元する研究を目指して	単著	臨床検査学教育 ; 10 : P23-29.	松下 誠	2018.4
13	松下 誠	健康開発学科	教授	血清蛋白測定の標準化の実践	共著	検査と技術 ; 47 ; P.23-33.	松下 誠、中島一樹、永井謙一	2019.1
14	新井 恵	健康開発学科	准教授	歯科衛生学生におけるがん患者のEnd-of-Life Care教育の効果と課題	共著	日本歯科衛生教育学会雑誌 ; 9(1) ; P.25-30	平野裕子、 <b>新井 恵</b> 、秋山恭子	2018.1
15	新井 恵	健康開発学科	准教授	短期大学・大学における歯科衛生過程の取り組みと教員による授業評価	共著	全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌 ; 2019(8) ; P.19-24	野口有紀、 <b>新井 恵</b> 、鈴木恵子、足立了平	2019.3

## 【健康開発学科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
16	新井 恵	健康開発学科	准教授	埼玉県立大学における歯科衛生課程の取り組みについて	単著	全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌; 2019(8); P.43-44	新井 恵	2019.3
17	新井 恵	健康開発学科	准教授	保育園児の家庭での歯磨き状況と保護者の意識調査	単著	保健医療福祉科学; 8; P.48-52	新井 恵	2019.3
18	新井 智子	健康開発学科	准教授	大学生の血中酸化ストレスマーカー測定値にみられた性差	単著	生物試料分析, 42(2), 102-108	新井智子	2019.3
19	有竹 清夏	健康開発学科	准教授	BPSDと睡眠障害.	共著	ねむりとマネージメント	有竹清夏, 三島和夫	2018.8
20	有竹 清夏	健康開発学科	准教授	Physical Activity and Sleep.	共著	Oxford Research Encyclopedia	Aritake S, Uchida S	2019.3
21	有竹 清夏	健康開発学科	准教授	Pericardial skin warming elevates the distal skin temperature without affecting the proximal or core body temperature.	共著	Scientific Report	Ichiba T, Suzuki M, Aritake-Okada S, Uchiyama M	2019.3
22	安藤 克己	健康開発学科	准教授	動脈硬化の地域特性評価に頸動脈エコーが有効であった大学主催の健康講座の取り組み	共著	生物試料分析	久保田 亮, 荒川 恭子, 井原 寛子, 酒井 伸枝, 安藤 克己, 室橋 郁生	2019.6
23	井原 寛子	健康開発学科	准教授	Chloroquine Inhibits Self-Renewal of Blast Progenitors Synergistically With Phytochemicals or Nonsteroidal Anti-inflammatory Drugs in Hematological Malignant Cell Lines.	共著	Anticancer research 39(1) 87-98	Kawaguchi-Ihara N, Zhao Y, Nakamura S, Suzuki K, Zhang YI, Tohda S, Murohashi I	2019.1
24	内山 真理	健康開発学科	准教授	大学主催健康講座の随時尿法を用いた1日食塩摂取量測定と減塩推奨の効果の検討	共著	臨床病理, 66(4), 371-375	荒川恭子, 酒井伸枝, 井原寛子, 久保田亮, 内山真理, 関美雪, 室橋郁生	2018.4
25	北畠 義典	健康開発学科	准教授	小学5年生を対象とした食事バランスガイドを活用した食教育介入の効果準実験デザインによる検証(査読付原著)	共著	健康支援, 20(2), 201-210.	西中川まき, 稲山貴代, 根本裕太, 北畠義典, 荒尾孝	2018.9
26	北畠 義典	健康開発学科	准教授	小学校高学年児童および中学生における身体活動, スクリーンタイムと睡眠指標との関連の検討: 横断研究	共著	運動疫学研究, 21(1) in press	根本裕太, 北畠義典, 稲山貴代, 荒尾 孝	2019.3
27	久保田 亮	健康開発学科	准教授	大学主催健康講座の随時尿法を用いた1日食塩摂取量測定と減塩推奨の効果の検討	共著	臨床病理 66(4), p371-375	荒川恭子, 酒井伸枝, 井原寛子, 久保田亮, 内山真理, 関美雪, 室橋郁生	2018.4
28	久保田 亮	健康開発学科	准教授	IgA腎症の早期発見を目的とした尿蛋白電気泳動による解析	共著	生物試料分析 41(3), p153-161	西澤美穂子, 久保田亮, 五十嵐徹, 酒井伸枝	2018.7
29	久保田 亮	健康開発学科	准教授	セルロースアセテート膜電気泳動を用いた蛋白尿の解析	単著	検査と技術 47(2), p125-130	久保田亮	2019.2
30	久保田 亮	健康開発学科	准教授	心筋梗塞発症体質と膵炎発症体質患者における脂質異常症例に対しポリアクリルアミドゲルディスク電気泳動法を用いた新病態分類法(改変WHO分類法)による試み.	共著	日本体質医学会雑誌 81(1), p25-33	久保田亮, 井上郁夫, 小倉正恒, 小泉智三, 藤井隆, 野田光彦	2019.2
31	久保田 亮	健康開発学科	准教授	動脈硬化の地域特性評価に頸動脈エコーが有効であった大学主催の健康講座の取り組み	共著	生物試料分析	久保田亮, 荒川恭子, 井原寛子, 酒井伸枝, 安藤克己, 室橋郁生	in press

## 【健康開発学科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
32	佐藤 玲子	健康開発学科	准教授	埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科口腔保健科学専攻における教職課程(養護教諭)履修者の動向	共著	子ども・教職研究2巻、77-80	佐藤玲子、吉田隆、高久悟	2019.3.28
33	白土 佳子	健康開発学科	准教授	1期生を輩出した新設学科における国家試験対策評価と今後の課題	共著	臨床検査学教育雑誌; 10(2); P.238-243	岡山香里、長田誠、小原はつ江、高橋克典、古田島伸雄、石垣宏尚、 <b>白土佳子</b> 、浅見知市郎、荒木康久、亀子光明、藤田清貴	2018.09.
34	白土 佳子	健康開発学科	准教授	生活習慣が末梢リンパ球サブセットに及ぼす影響	共著	日本末病システム学会雑誌; 24(3); P.1-11	藤本友香、浅見知市郎、 <b>白土佳子</b> 、古田島伸雄、長田誠、時田佳治、柳川益美、村上正巳、小原はつ江	2018.12.
35	廣渡 祐史	健康開発学科	准教授	陰イオン交換クロマトグラフィーによるリポ蛋白分析の技術と臨床応用.	共著	臨床病理 66:445-456,2018	廣渡祐史、真仁田大輔、吉田博.	Apr-18
36	村井 美代	健康開発学科	准教授	Molecular mechanisms of <i>Streptococcus pneumoniae</i> -targeted autophagy via pneumolysin, Golgi-resident Rab41, and Nedd4-1 mediated K63-linked ubiquitination	共著	Cellular Microbiology. 2018; e12846.	Ogawa, M., Matsuda, R., Tomokiyo, M., Takada, N., Yamamoto, S., et al. (21人中12番目)	2018.8
37	村井 美代	健康開発学科	准教授	<i>Legionella pneumophila</i> and Other <i>Legionella</i> Species Isolated from Legionellosis Patients in Japan between 2008 and 2016.	共著	Applied and Environmental Microbiology 84(18)	Anemura-Maekawa J, Kura F, Chida K, Ohya H, Kanatani JI, et al. (13人と1グループの12番目)	2018.9
38	村井 美代	健康開発学科	准教授	グラム陰性菌のリボ多糖の構造と合成経路の多様性 - <i>Legionella pneumophila</i> の遺伝子検査による血清群別に向けて -	共著	保健医療福祉科学 2018 8巻	中植竜大、前川純子、村井美代	2019.3
39	八十島 崇	健康開発学科	准教授	方向転換走および直線走タイムと股関節外転筋力の関係の検討	共著	Strength & conditioning journal	八十島 崇、高山 史徳	NSCA ジャパン・2018年5月
40	矢野 哲也	健康開発学科	准教授	Ocular surface and tear film characteristics in a sclerodermatous chronic graft-versus-host disease mouse model	共著	Cornea; 37(4); 486-494	He J, Ymane M, Shibata S, Fukui M, Shimizu E, <b>Yano T</b> , Mukai S, Ogawa Y, et al.	2018.4
41	矢野 哲也	健康開発学科	准教授	病理検査 細胞診・セルブロック法・電子顕微鏡	共著	日本臨床検査同学院 通信; 43(冬季号); 244-251	青木裕志、 <b>矢野哲也</b>	2018.1
42	柳澤 伸彰	健康開発学科	准教授	Morphological Study on the Fibula in Japanese: Basic Anatomical Study for Maxillofacial Reconstruction	共著	Journal of Hard Tissue Biology 27[4] (2018) 287-294	Hidetomo Hirouchi, Yoshiaki Shimoo, Masashi Suzuki, Satoru Matsunaga, Masahito Yamamoto, Kento Odaka, Kei Kitamura, Kazuto Koresawa, <b>Nobuaki Yanagisawa</b> , Koji Sakiyama, Takeshi Takayama, Katsuhiko Hayashi, Wei-Jen Chang and Shinichi Abe	2018.1

## 【健康開発学科】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
43	柳澤 伸彰	健康開発学科	准教授	Morphology and relationships of the biceps brachii and brachialis with the musculocutaneous nerve.	共著	Surg Radiol Anat. 2018 40(3)	Masahito Yamamoto, Urara Kojyo, <b>Nobuaki Yanagisawa</b> , Keisuke Mitomo, Takeshi Takayama, Koji Sakiyama, Shinichi Abe	2018.3
44	吉永 亜子	健康開発学科	准教授	「社会性」を利用して11人全員が3か月間の禁煙を達成した、職場の禁煙プログラム	共著	禁煙科学 ; 12 ( 12 ) ; P1-11	吉永亜子・黒澤恭子	2018.1
45	吉永 亜子	健康開発学科	准教授	子のFTO遺伝子(rs1558902, rs1121980) SNP型から確率計算により、親世代におけるSNP型別肥満率を推定する試案	共著	保健医療福祉科学 ; 8 ; P32-39	吉永亜子、小川俊夫、田野ルミ、濱口豊太、行正信康	2019.3
46	秋山 恭子	健康開発学科	助教	歯科衛生学生におけるがん患者のEnd-of-Life Care教育の効果と課題	共著	日本歯科衛生教育学会雑誌、9(1)、P25-30	平野裕子、新井 恵、秋山恭子	2018.5
47	久保田 チエコ	健康開発学科	助教	Change in the Preference for Place of Death among Community Residents through the Intervention of an End-of-Life Care Seminar	共著	Advances in Clinical and Translational Research Volume 2, Issue 3 Article ID: 100013	Yoko Uchida, Yuri Moki, <b>Chieko Kubota</b>	2018.10
48	久保田 チエコ	健康開発学科	助教	Factors affecting xerostomia among community residents participating in a long-term care-prevention workshop: a cross-sectional study	共著	保健医療科学 第67巻 第5号 Journal of the National Institute of Public Health	<b>Chieko Kubota</b> , Yoko Uchida , Yohei Hama	2018.12

## 【大学院】

	教員氏名	部署(学科)	職名	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発行・発表年月
1	川越雅弘	保健医療福祉学研究科	教授	リハビリテーションに期待される役割と今後の方向性-地域包括ケアの構築と深化に向けて-	単著	Review and Research 15, 4-7	川越雅弘	2018.6
2	川越雅弘	保健医療福祉学研究科	教授	介護提供体制の現状・課題と今後に向けて：多職種連携に焦点を当てて	単著	週刊社会保障, 72(2985), 92-97	川越雅弘	2018.8
3	川越雅弘	保健医療福祉学研究科	教授	VISITとは何か, またそのデータはどのように活用されていくのか	単著	作業療法ジャーナル, 53(2), 158-163	川越雅弘	2019.2